

# チャレンジフェスティバル開催!!

2025年5月18日(日)に、戸塚スポーツセンターでチャレンジフェスティバルを開催します。種目は、体力系の握力、片足縄跳び、小丸太切り、ドリブルなどや、頭脳系の記憶力や数字書き、ほかにも懐かしい、羽根つき、けん玉、輪投げなど全部で20種類、大人も楽しめます。

記録は小学生低学年・高学年に分かれているので、新記録を目指してチャレンジ!!

※写真は第29回より



## 開催概要

**第30回チャレンジフェスティバル**  
主催：戸塚区青少年指導員協議会 共催：戸塚区子ども会連絡協議会  
後援：戸塚区役所  
日時：2025年5月18日(日) 9時00分～13時00分(予定)  
会場：戸塚スポーツセンター(戸塚区上倉田町477)  
●ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。  
●上履きを必ずご持参ください。



<b>2024年度 下期行事</b>	<b>10月5日(土)</b> ■青少年防災対応力強化研修 (横浜市消防訓練センター) 区内中高生の防災対応力を強化するために、心肺蘇生等を実習	<b>11月3日(日・祝)</b> ■第48回戸塚ふれあい 区民まつり (東戸塚小学校ほか) 工作教室や模擬店を出店	<b>11月10日(日)</b> ■神奈川県青少年指導員大会 (相模原市)	<b>12月8日(日)～12月13日(金)</b> ■12/8児童文化作品展～子どもたちが作った作品を紹介展示～ (戸塚区総合庁舎3階 多目的スペース大) 工作的体験コーナーもあり ■12/9～13児童文化作品展及び青少年指導員活動紹介パネル展 (戸塚区総合庁舎3階 区民広間)
	<b>3月9日(日)</b> ■横浜市青少年指導員大会 (関内ホール)	<b>3月29日(土)</b> ■スポーツフェスティバル (戸塚スポーツセンター) スポーツ推進委員と 共催でボッチャ大会と さわやかスポーツ体验会を実施		
<b>2025年度 上期行事 予定</b>	<b>5月18日(日)</b> ■チャレンジフェスティバル (戸塚スポーツセンター) 20種目の様々な競技にチャレンジ!新記録を目指せ!!	<b>6月8日(日)</b> ■戸塚区青少年指導員全体研修 (戸塚区役所会議室)	<b>7月</b> ■全市一斉統一行動 パトロール 青少年指導員が繁華街、公園などを中心に巡回夜間パトロールを実施	<b>7～8月</b> ■社会環境実態調査 インターネットカフェ・まんが喫茶、古書店、ゲームソフト取扱店などの店舗調査
	<p>実施内容については変更する場合があります。</p>			



# 集まれ! さくらっこ!



YOKOHAMA  
YOUTH  
MENTOR

横浜市青指の  
シンボルマーク

戸塚区青少年指導員(青指)  
だより

## 目次

P.1…『子どもの本音を聴いていますか?』／P.2・3…親子でお出かけスポット第2弾  
P.4…チャレンジフェスティバル開催!!／2024年度 下期行事・2025年度 上期行事予定



## 『子どもの本音を聴いていますか?』

子どもが成長するにつれ、頼もしさが増す反面、不安や心配事も増えていきますね。

友だちはいるのか、いじめられていはないか、勉強にはついていくる

のか、学校は楽しいのか、スマートやゲームにのめり込んでいないか……。子どもの様子や本音を知るには「聴く」ということがとても大切です。それにはカウンセリングの「傾聴・受容・共感」の基本姿勢がとても参考になります。



### 1. 本音を聴く心構え

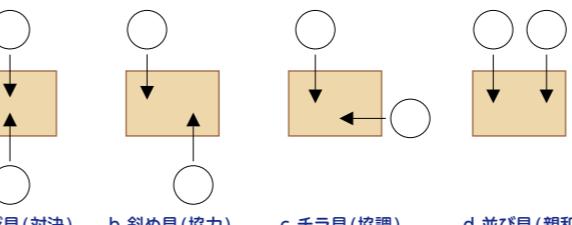
<決め付けない>

親は子どもの成長を生まれた時から見ています。子どものことは分かっているという気持ちから、つい「どうせ〇〇でしょう」という先入観を持って話をしてしまいかがちです。それでは本当の姿は見えません。「分かっている」という気持ちから誤解が生まれます。

<「認める」≠「賛成」>

「なるほどね」「そう思ったんだ」と親の気持ちや考え方と違っていても、まず子どもの気持ちや考え方を認めることが大切です。人は「自分を認めてもらうこと」が何より重要です。しっかりと気持ちを聴いた上で、親としての気持ちや考え方を伝えましょう。

### 2. 座る位置による様々な効果



子どもの話を聴く時の座る位置(視線の合わせ方)によっても様々な効果があります。

「a. マジ見」は相手が圧迫感を受け素直になれません。望まし

い話し合いの位置取りは、協力を促す「b. 斜め見」から始め、協調を呼ぶ「c. チラ見」、そして本音を語りやすい親和の「d. 並び見」の位置へと徐々に移動します。

逆に、叱る時やお説教は「a. マジ見」の位置に座ると良いでしょう。

### 3. 話しやすいコミュニケーションのコツ

<態度によって話しやすくするコツ>

子どもが手を組んだら自分も手を組むというように姿勢や態度を合わせます。また、うなずきやアイコンタクトなど、動作や視線で「聴いているよ」「そうなんだね」と受け入れていることを示します。

<あいづちやオウム返しで話しやすくするコツ>

「はいはい」「ふ～ん」「へえ～」「ほお～」の『は行』と「うんうん」「そうか」「そうなんだ」などの『うん・そう(運送)屋』が基本です。子どもの気持ちに共感する言葉であいづちを打つと会話が続き、どんどん気持ちを伝えてくれます。

また、「つらかったんだ」「頭にきたんだね」など、言葉の最後や気持ちを『オウム返し』に繰り返すことで、会話にスムーズな流れを作ったり、発言のキッカケを与える効果があります。

<本音を引き出す質問のコツ>

子どもの様子を知りたい時に、子どもの口が重い場合には、「おなかは痛くない?」「よく眠れた?」など最初は「Yes」「No」で答えやすい質問をします。そして会話に慣れてきたら「どう感じたの?」「どう思った?」など、気持ちや感情を自由に回答できる質問をします。

これらは子どもに対してだけでなく、夫婦間やあらゆる人間関係作りにも役立つコミュニケーションのテクニックです。一番難しいのは「1. 本音を聴く心構え」です。自分の子どもと言えども多くの親子の年齢は20歳以上離れています。育った環境も違い価値観が違っていても当たり前です。先入観を持ち過ぎず「気持ちを聴いて、まず違いを認める」から始めましょう。多様化はまず家族からです。



## 戸塚公園 所在地 戸塚区戸塚町 2420-2

戸塚公園は、公園エリアと里山エリアに分かれた広大な敷地を誇る自然公園です。公園エリアは、コンビネーション遊具をはじめとした遊具、自由にのびのびと遊べる広場を備え、のんびりピクニック気分を楽しめるエリアです。よくワンちゃんをお散歩させる人達や子ども連れのご家族が遊びに来る姿が見られます。

一方、里山エリアは、うっそうと繁る森で、鎌倉のハイキングコースのような気分を味わえる散策コースがあるエリアです。チハイキングコースですが上り下りが楽しめハイキングの練習には最適です。



995(長徳元)年頃建立 → 1072(延久4)年創建 → 1306(徳治元)年創建 → 1604(慶長4)年設置 → 1887(明治20)年完成 → 大正初期設置

### ① 実方塚(上倉田)

平安時代に歌人としても活躍し、小倉百人一首にも名を残した藤原実方にまつわるとされる石碑。以前は東北の任地に向かう途中で亡くなった実方の墓所とされましたが、現在は従者の供養碑ではないかとされています。塚を守る的是実方さん一族です。



▲実方塚(上倉田町付近)

### ② 富塚八幡宮(戸塚第一)

前九年の役を平定するために奥州に向かう源頼義、義家父子が富塚山中で野営した際、夢で応神天皇(誉田別命)、富属彦命のお告げを受けます。戦に勝利した父子はこの地に二神を祀る社殿を寄進しました。この富塚が「戸塚」の名の由来ともいわれます。



▲富塚八幡宮(戸塚町 3828)

### ③ 妙法寺(名瀬)

日蓮宗の開祖・日蓮上人が入滅して25年後、日蓮六老僧の一人である日昭上人のために武将・風間信昭が自宅敷地内に寺院を建立しました。日昭上人が住んで布教した唯一の古刹。1997年に日蓮宗の宗門史跡に認定されました。横浜市指定文化財。



▲妙法寺(名瀬町 772-4)

### ④ 東海道戸塚宿(吉田矢部・戸塚第二・戸塚第一)

戸塚宿は、江戸・日本橋から数えて5番目の宿場町で、日本橋からは10里半(約42km)の距離にあります。当時の人の脚でちょうど1日の距離になり、最初の宿泊地として賑わいました。江戸方見附と上方見附に挟まれた約2.3kmに、澤邊本陣跡、家康ゆかりの清源院、松尾芭蕉の句碑など、多くの史跡が残されています。歌川広重「東海道五十三次」に描かれているのは、現在も柏尾川にかかる大橋(吉田大橋)。絵柄の違う版画が存在するのは、版木が擦り切れるほど増刷し、版木から作り直したからです。



▲歌川広重  
「東海道五十三次之内 戸塚 元町別道」

### ⑤ 清水谷戸トンネル(東戸塚)

東海道線の戸塚駅と横浜駅の間にあり、現役で使われている日本最古の鉄道トンネル。1887年に完成したのは上り線で逆U字型、11年後に完成した下り線は下部が絞られた馬蹄形になっています。全長213.7m、土木学会選奨土木遺産。



▲清水谷戸トンネル(戸塚側／品濃町付近)

### ⑥ 南谷戸のおおわらじ (下倉田)

鎌倉時代、村人が枝にわらじを吊るし、村の安泰と旅人の安全を祈願しました。大わらじが奉納される様になったのは大正初期。南谷戸の象徴として五穀豊穣や交通安全を願って作られたといわれます。現在のわらじは全長3.5m、幅1.5m、重さ約200kg。



▲南谷戸のおおわらじ(下倉田町 675-1)

## 親子でお出かけスポット 第2弾!

都会では見る機会の少なくなった「ホタル」。闇の中に浮かぶ幻想的な光の乱舞が戸塚区内で見ることができます。

### 舞岡町小川アメニティ(舞岡公園内) 所在地 戸塚区舞岡町 1764 付近

舞岡公園は丘陵地にある約30万坪の公園です。散歩のできる小道が整備され、広場、田園風景を残す水田や明治初期の古民家があります。野鳥などを見ることもでき、自然観察が楽しめます。

北沢地区では毎年6月上旬に「親子ホタル観賞会」を行っています。舞岡町小川アメニティや瓜久保の家休憩所付近を親子で歩いて鑑賞します。



### 名瀬町小川アメニティ 所在地 戸塚区名瀬町 2478 付近

戸塚カントリー倶楽部を源流に名瀬町西部を流れる小川と、その脇の遊歩道を総称して呼んでいます。全長600mほどで、四季折々の花が咲きカワセミが訪れるなど、自然豊かな環境が作られています。

初夏にはホタルが幻想的な光を放ち、毎年5月中旬から6月にかけてホタルの鑑賞を楽しむことができます。

源流に近い西蓮寺付近ではホタルが飛び交い、ホタルを間近に感じられます。

